



おうちでお手入れ&ケア

お手入れ編

愛犬ビューティ
レッスン
第1回

爪きりに チャレンジ!

まずは、お手入れ道具や飼い主さんの動きに対するマイナスイメージを取り除き、安心させてあげることが大切です。じっくり時間をかけて“お手入れ大好き・ピカピカ犬”になりましょう。

ふだんから、足を触られることに慣れておきましょう!

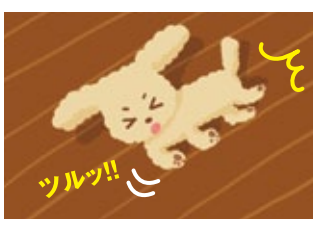


爪を切ってみましょう

最初は1日1本から。切らせてくれたら、しっかり褒めてあげて。

Q.爪きりしないとうなるの?

A.フローリングなどの滑りやすい床で転んでケガをする危険が。切らずに伸ばし続けると、歩く度に皮膚に食い込んで痛みの原因になったり、爪が湾曲しながら伸び、折れたり肉球に刺さることもあります。



使う
道具は
コレ



ギロチン型 爪きり
初心者におすすめのギロチンタイプ。ライフ爪きり (P.88に掲載)

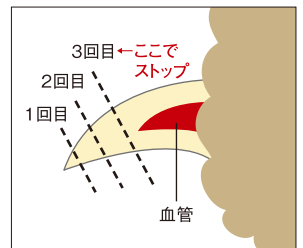
やすり型
少しずつ削るので深爪しにくい電動やすり。仕上げや長さを整えたい時に。ペディキュア (P.88に掲載)

爪やすり
切った後のとがった角を丸く整えます。ささくれ防止のため、一定方向に動かしましょう。ライフ爪きりに付属 (P.88に掲載)

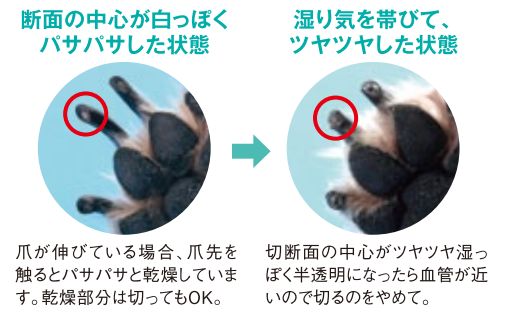
止血剤 血管を傷つけ、出血(深爪)してしまった時に使う止血剤。万が一、出血した場合は止血にくいので、事前に動物病院にお問い合わせください。

STEP1 「切る長さ」を確認しておきましょう

犬の爪には神経と血管が通っています。少しずつ何回かに分けて切って、血管の手前で切るのをストップ。



Q.黒い爪の子はどこまで切ったらいいの?



STEP2 「保定法」をマスターしましょう ~愛犬は足をあげやすく、安全に爪きりできるポーズです~



自分の体に愛犬を引き寄せ、爪きりを持つ反対側の腕の脇で、愛犬を抱え込みます。2人で行なう時は、1人がおやつを愛犬の鼻先に出してひきつけながら、もう1人が爪きりをします。

STEP3 後ろ足から切ってみましょう



前足から始めると、愛犬が恐怖を感じやすいので、後ろ足から切ります。深爪しないように、少しずつ切りましょう。

他の爪も同様に切ります。狼爪(親指)も忘れずに。最後にやすりをかけて仕上げます。



揉んだり、肉球を押し広げたりもしてみましょう。同じように後ろ足も。



首、背中、胸など愛犬が自分で舐めてお手入れできないところをなでると喜びます。

2人で行なう時は...

1人がおやつを愛犬の鼻先に出してひきつけながら、もう一人が触る係りをします。



3. ほめる。

上手にできたらしっかり褒めてあげて。最初から全部やろうとせず、少しずつステップアップしていくようにしましょう。

× 無理やりは厳禁!



一度嫌なイメージがつくと、お手入れ自体が嫌いになることも。無理に引っばったり、力づくで押さえ込んだりすることは避けて。